

Aprire



秋田大学広報誌〈アプリーレ〉

No. 39
2013

特集

ワーク&ライフ
自分らしく働くことー



特集

ワーク&ライフ 自分らしく働くことー

女性研究者が少ないということは大きな問題となっていて、日本の女性研究者比率は国際的に非常に低いと言わざるを得ません。女性が研究を続けたくても「ロールモデルがない」「育児や介護により仕事を続けられない」という障害があることが課題としてあげられています。

秋田大学男女共同参画推進室は、教員に限らず、また「男性だから」「女性だから」という性的役割に縛られずに、一人ひとりが輝くことのできる職場環境の実現に向け、様々な取り組みを行っています。



秋田大学副学長
(男女共同参画等担当)

池村 好道

私たちの暮らしを収入面で支えるのは「仕事」であり、それに豊かさをもたらすのは「生活」の充実であるとの認識から、近年は「仕事と生活の調和」(即ち「ワーク・ライフ・バランス」)の推進が、官・民あげての重要課題として提起されています。「男女共同参画社会」の実現はその重要課題の柱のひとつであり、平成11年に施行された男女共同参画社会基本法の前文は、男女共同参画社会を「男女が、互いにその人権を尊重しつつ責任も分かち合い、性別にかかわらず、その個性と能力を十分に発揮するこ

秋田大学の男女共同参画における取り組み

学内組織体制の整備(委員会等の設置)
県内大学・行政等との地域連携体制の整備・構築

支援相談窓口の設置

●育児・介護の相談、情報提供

研究継続支援策の実施

●病児・病後児保育室
●研究支援員制度

次世代女性研究者育成事業

●若手女性研究者向けセミナー
●学部学生向けロールモデル紹介
●小中学生・親子向けサイエンスセミナー

大学間連携事業

●代替要員制度人材情報データベース
●中高生向け理系イベントの開催

意識啓発活動

●講演会・シンポジウムの開催
→国内外の男女共同参画の実情を学ぶ

とができる「社会と捉えた上で、その実現を、21世紀の日本社会を決定する最重要課題と位置付けています。

これまで秋田大学は、教育活動等を通じて男女共同参画社会の形成に寄与する高い意識を持った人材の育成に努めようと、また、地域における就業環境の改善に向けリーディングな役割を果たすことを通じて地域文化の向上に貢献しようと、本号紹介のとおり、男女共同参画の推進に積極的に取り組んで参りました。

タイプ経費の配分、採用された女性教員へのスタートアップ経費の付与、女性研究者等との懇談会実施などを施策決定し、実施に移しつつあるところです。

これからの、秋田大学における男女共同参画を更に進展させるべく、男女共同参画推進室を中心として一層意欲的に諸課題に取り組んで参りますので、学内外の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

今後の取り組み

1.女性研究者の人数、比率の増加(量的側面)

●インセンティブ付与 ●公募書類に各種制度を記載し、女性研究者応募・採用比率の向上

2.生活、研究、仕事面の充実(質的側面)

●研究支援員制度 ●優秀女性研究者表彰 ●病児・病後児保育室「ことりのおへや」 ●意識啓発と環境改善(コロコニトーキング、ガイドブック・Q&A集の配付)

3.次世代の女性研究者を育成・支援する事業

●男女共同参画に関わる教養教育科目のプロデュース

①支援相談窓口

②大学間連携事業

③次世代育成事業

④意識啓発事業

⑤情報発信・収集

目標:女性研究者比率を**18%に!!**

これまでの取り組み

病児・病後児保育室「ことりのおへや」

学生・教職員の子どもを対象とした病児・病後児保育施設。医学部附属病院に隣接し、家庭的な雰囲気の中で保育士と看護師がお世話をします。安心して預けられると好評です。

コロコニガイドブック・Q&A集を発行

育児や介護に関する休業制度を分かりやすく解説。全教職員に配付しています。

研究支援員制度

育児期の女性研究者が研究活動を継続できるよう、大学院生等を支援員として配置。研究を中断することなく、ワーク・ライフ・バランスを保つことができ、また支援員のキャリアアップにもつながっています。



支援員と研究に取り組む女性研究者

代替要員の人材情報をデータベース化

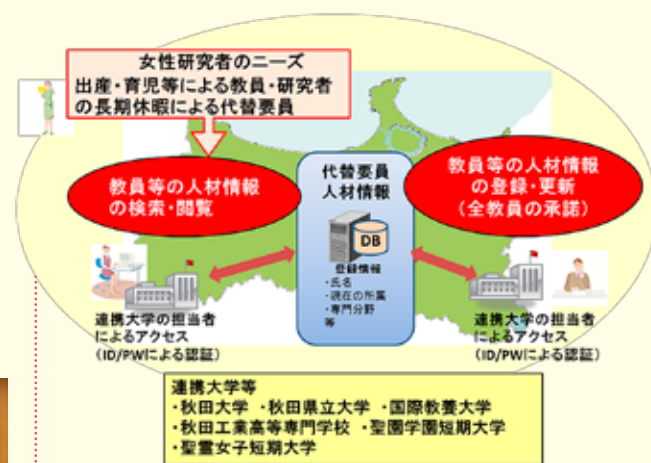
秋田県内の大学等に所属する教員が代替要員を必要とする場合の支援として、研究者の情報を集約しています。

コロコニトーキング

ワーク・ライフ・バランスのための支援について、育児休業等を実際に利用する教職員を対象に、意見交換会を行っています。



コロコニトーキングの様子



優秀女性研究者表彰

優秀な若手女性研究者を表彰することで、意欲的・継続的に研究活動に取り組んでもらうことが目的で、ロールモデルとしての活躍が期待されます。



育児・介護経験者に インタビューしました!!

◆育児休業利用職員

秋田大学の イクメン

※「イクメン」育児参加する男性のこと。

総務省が平成22年に行った都道府県別の調査で、秋田県の男性は育児にかかわる時間が全国で一番長いとの調査結果が発表されました。平成24年度、秋田大学では2名の男性職員が育児休業を取得しました。

Q・育児取得のきっかけとご家族・職場の反応は?

吉田…前病棟師長から育児取得を勧められたのがきっかけです。職場スタッフも協力的でした。1カ月という短い期間ですが子どもの成長と一緒に見ていけることに對して、妻は「とても幸せ」と話していました。

小野…男性も取得できるというポスターを見たことや、1人目の子の時、あまり育児に参加できなかったことがきっかけです。先に先輩が取得していた影響もありました。長男もまだ小さいため、「4人で生活を始める上で助かった」と妻が話していました。

Q・取得前と復職後で、家族や仕事に対する心境の変化はありましたか?

小野…育児の大変さが分かり、家族が仕事の励みになっていると実感しました。



附属病院 看護師 吉田 清人さん
第一子出生時に1カ月間育児取得



附属病院 看護師 小野 拓也さん
第二子出生時に1カ月間育児取得



伊藤看護師長(中央)と第二病棟2階のスタッフのみなさん

お二人の上司 からのコメント

第二病棟2階 看護師長 伊藤真弓

Q・これからパパになる方へのアドバイスやメッセージをお願いします。

吉田…ぜひ出産に立ち会い、できるなら1カ月だけでも育児を取得することをお勧めします。育児に参加することで奥さんの苦労も分かり、家族の絆が強まると思います。

小野…生まれた子どもや家族との貴重な時間を過ごせるいい機会です。こんなによつくりとした時間を家族と過ごせることはもうないかもしれません。ぜひ取得を!

◆介護経験者 実体験を語る 介護の現場

平成22年9月に実施した内閣府の世論調査によると、在宅介護、施設介護に関する意識について4割近くの国民が「自宅で介護を受けた」と回答しています。住み慣れた場所、家族と共に自由に過ごしたいという理由のようです。しかし、その一方で「家族に迷惑をかけたくない」「専門的な介護が受けられる」とのことから介護施設等を利用するとの回答が増加傾向にあります。高齢化が進む中、家族の介護は誰もが関わる道。秋

田大学にも仕事をしながら介護に携わった教職員がおります。その中の一人、医学系研究科 形態解析学・器官構造学講座の阿部寛教授に男女共同参画推進室職員がインタビューを行いました。

Q・阿部教授は、どのような介護をされていたのか具体的に教えてください。

阿部…私は、大館市に住む二人暮らしの母（現在94歳の遠距離介護を経験しました）が、やがて母の要介護度が2から4へと上昇しました。母の一人暮らしも私の冬の運転も危険だと悟り、平成23年2月に職場近くの有料老人ホームへ入所させました。

現在は、介護のプロであるヘルパーの方々に食事・入浴・排泄など常時の見守りが必要な介護や、洗濯・清掃などの世話をお願いしています。そ

Q・介護休業などの支援制度は利用されましたか。

阿部…母が大館市に住んでいた頃は、介護関係者と連絡を取って、通常の休暇で対応したり、親族のお世話になつたりしたため、介護休業は利用しませんでした。

遠くに住む方が介護のため帰郷するには、秋田大学の186日分の介護休業は必要な制度であると思います。しかし、要介護度が3以上になると一人暮らしは難しく、4では常時見守りが必要となり、また介護が10年を超える場合もあるので、186日が上限の介護休業では不足であり、やはり施設介護が

れ故に面会や買物・通院の付添い・レクリエーションなどを含む、家族の義務である精神的な支えが可能であり、また仕事とも両立できるのだと思います。



親子でババヘアアイスを楽しむ阿部寛教授とお母様

担になると思われ。

Q・職場の支援体制や今後の心構えなど、アドバイスをお願いします。

阿部…介護は男女を問わず全ての人の問題であり、職場では介護情報提供や相談体制の構築など、介護する側を支援する環境が必要だと思っています。

また、心構えとして、福祉施設それぞれの条件、介護保険制度な

どの公的支援の情報を集めておく、いざ介護が必要になった時に迷わずにすむと思います。介護が間近の方は、介護認定のために福祉関係の部署に相談することは不可欠であり、認知症が懸念される場合は神経内科などの受診が有効だと思います。平成23年から認知症の進行を抑制する4種の薬が健康保険で使用可能となりました。長期間の介護に向けて、親の年金・資産・介護費用など経済状況の把握も欠かせませんし、既に介護で苦勞をされている方は、誰かがキーパーソンであるとしても家族内で情報を共有することが大切かもしれません。適切にストレスを発散し、仕事と介護を上手に両立できるよう願っています。

ありがとうございます。長期や急な休暇は、職場の協力や支援も必要ですが、社会的支援体制も上手に利用して、介護をする方もされる方も明るく幸せな介護生活を送られるようにしたいものです。



国立大学法人 秋田大学
男女共同参画推進室

コロコニ
coloconi

- 〒010-8502 秋田市手形学園町1-1
- ☎018-889-2260 ●FAX 018-889-3186
- E-mail:sankaku2@jimu.akita-u.ac.jp
- ホームページ
<http://www.akita-u.ac.jp/coloconi/>
- ブログ
<http://www.akita-u.ac.jp/coloconi/blog/>

「芯のある教師づくり」を目指して

教育文化学部／音楽教育講座

准教授

高橋 保子
Takahashi Yasuko

高校教員時代



第49回全日本吹奏楽コンクール秋田大会(平成19年)



教え子の皆さんと記念撮影

朝からピアノや歌声、楽器の音を耳にし、ちよつぱり贅沢な気分になる。学校現場の朝はこうはいかない。朝7時半から欠席や遅刻の連絡対応、校門での整容指導、朝の打ち合わせ、シヨートホームルーム、授業準備などなど：一日のスタートは慌ただしい。

さて、私はこの4月から秋田県教育委員会との交流人事で秋田大学にお世話になって30年近く、学級担任や教科指導、部活動や様々な校務分掌、学校運営等に携わってきた。秋田大学への勤務が決まったときは、驚きと不安、そして責任の重さを感じた。高校の教員が大学で教えるなど前例がなく、本人以上に周囲がびっくりしていたのも事実である。

私に課せられた使命は明確であった。秋田県の教員採用状況は依然として厳しいが、地元である秋田大学では教員採用率の向上を目指し様々な取り組みを行っている。私がここにいる理由は、現場の経験を生かし学生の正規教員採用率・教員就職率アップを図ること、そして、附属小・中学校との連携を図り学生に教師としての力を付けさせること、この2点である。2年間という限られた勤務期間での達成。決して容易ではないことは分かっているが、これまで学校現場で培い身に付けた力を学生たちのために振るうことができ、本当に幸せである。私自身、中学校(講師時代)、高等学校、そして大学勤務を経験し、生徒や学生のもの考え方、捉え方など成長過程を実感することができ、何より



Follow us!!

@nhk_akita

Twitter
はじめました!

つながる。伝える。



秋田放送局

〒010-8501 秋田市東通仲町4-2
TEL 018-825-8111(ハートプラザ)

秋田大学医学部附属病院

内視鏡手術支援ロボット「ダヴィンチ」を導入



ダヴィンチを使用した手術の様子

秋田大学医学部附属病院は、秋田県による支援のもと、内視鏡手術支援ロボット「ダヴィンチ」(以下、ダヴィンチ)を導入しました。県内では初めての導入です。

ダヴィンチは、離れた場所にいる執刀医が体内の立体映像を見ながら遠隔操作で手術ができ、手術を行うロボット部分とコントローラー部分に分かれています。ロボット部分には4本のアームがあり、そのうち3本には鉗子(かんし)やメス、残りの1本に3Dカメラが装着されており、操作台に座った執刀医が4本の

のアームを自分でコントロールしながら手術を進めていきます。ダヴィンチを使用した手術のメリットは、患者さんの身体への負担が減ること、手術の質の向上と合併症を引き起こすリスクの軽減が期待できることです。鉗子が直線的な動きしかできない従来の腹腔鏡手術に対して、ロボットのアームには人間の手よりも稼働域が広い関節がついていて、より複雑で繊細な動きが可能です。内視鏡の映像が立体かつ繊細で見やすく、手ぶれを補正する機能もついているため、より周りの血管や神経を傷つけずに臓器や腫瘍を摘出することができます。



小児病棟(第一病棟5階)にあるプレイルーム / 吉村昇秋田大学長視察

平成24年4月にロボット支援前立腺全摘除術が保険適用になり、秋田大学医学部附属病院では同年12月からダヴィンチを使用した前立腺摘出手術を行っています。全国的には子宮筋腫や子宮がん、胃がん、大腸がん、肺がんなど幅広く使用されており、秋田大学医学部附属病院においても手術の範囲を広げていく予定です。

子どもの遊びや心の育ちを支援 発達支援グループ「たんぽぽ」

秋田大学附属病院小児病棟では、平成19年より発達支援グループ「たんぽぽ」が、疾患および医療行為に伴う小児患者への精神的影響を最小限にし、健全な心の発達を促すために活動を行っています。文部科学省「医師不足分野等教育推進経費」に係る3年間の経費(平成19(21年度)の事業として新設された後、大学の事業とし、現在も臨床心理士と保育士3名で活動しており、充実した支援を行っています。

子どもは日常生活の中で様々な刺激を受けて発達していきます。子どもにとって病院は病気を治す場であるとともに、生活の場、成長と発達をする場でもあります。入院生活で病気に直面し、家族や友人と離れ、日常の「遊び」の環境から離れることは、発達に必要な刺激を受ける機会が妨げられることとなります。



NHK 秋田放送局

暮らしに役立つ“つぶやき”発信中！

イベント情報

NHK秋田放送局主催のイベントなどお楽しみ情報を発信！

番組情報

「ニュースこまち」や「エキヨコこまち」などその日の番組内容を発信！

お天気情報

お出かけまえにチェック！その日の天気情報と交通情報を発信！

<http://www.nhk.or.jp/eigyo/>

住所変更や契約手続き・支払い方法の変更など

0120-151515

午前9時～午後10時(土・日・祝日 午前9時～午後8時)

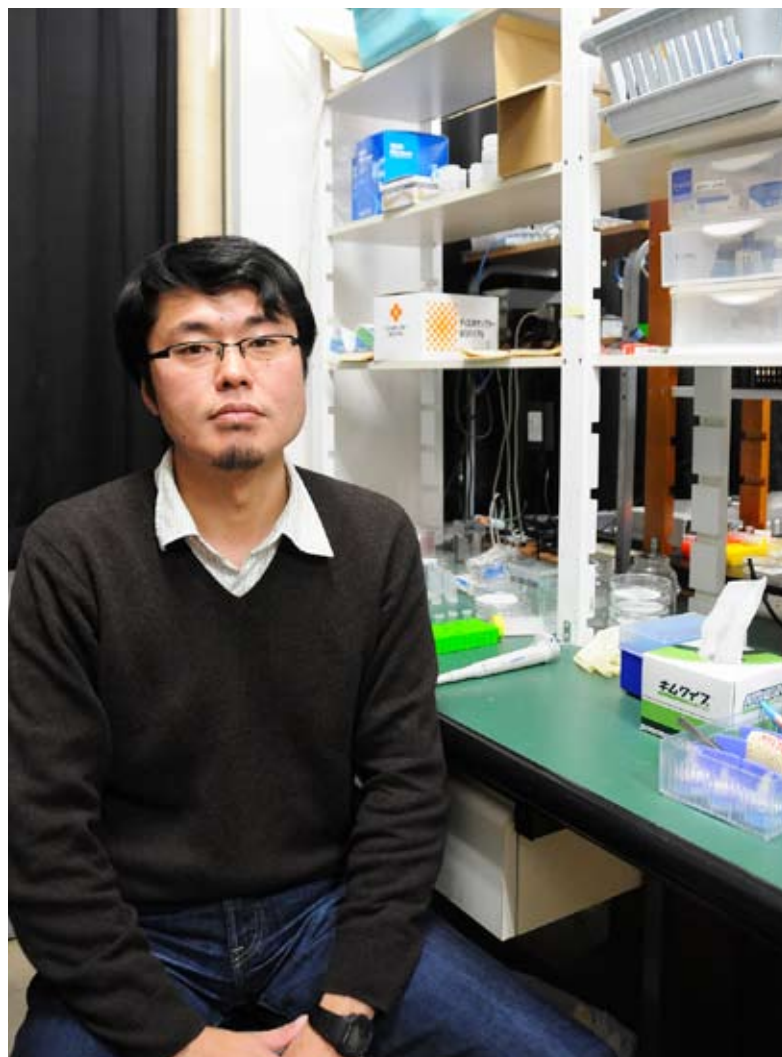
などなど…

分析化学の視点で生命科学に挑戦

大学院工学資源学研究所／生命科学専攻

准教授 藤原 一彦

Fujiwara Kazuniko



いきなりですが、私は「生命科学専攻」と生命の名のつく所属にありますが、現在の所属となるまで、生命、というか生物関連の研究はほとんど関係したことがありませんでした。私は秋田大学に在職して9年目になります。大学院生の頃は理学部化学科で、水と油の境目で機能する化合物を測定する分析装置を作っていました。このように書くとなんだか奇妙なことをしているように聞こえますが、この分野は界面化学、コロイド化学と呼ばれるような分野で、化粧品や食品製造でも非常に重要な学問です。学生時代は当時の研究分野をとっても気に入っていませんでしたので、ずっと関連する研究を続けるつもりでおりました。しかしながら採用いた

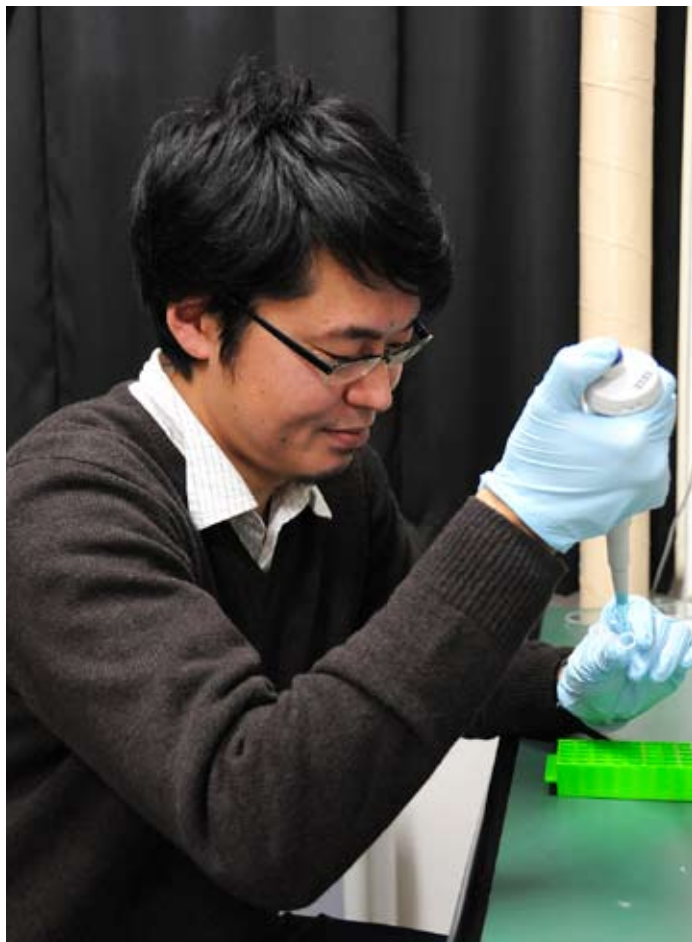
いた際に「これからはバイオだ。今までの研究は止めて是非新しい生物系の研究をしよう」と、現在もご指導いただいている小川信明先生に勧められ、現在の研究を始めることになりました。

研究内容は簡単に言うと、光を利用して、タンパク質や細胞の機能を解析する装置を作ることです。とはいえ着任当初は研究資金も資材もゼロだったので、周囲の先生方に少しずつ試料や機材を融通していただき、研究を始めました。また、学生の頃の所属は化学科でしたが、当時の研究室には装置の設計や制御の知識に長けた先輩・後輩・先生がおられましたので、自身で装置の部品から作ることや、制御のプログラムを作成することが比較のためにでききました。これが幸いして、少しずつアイデアを測定装置や測定方法として具現化して研究を進めていくことができました。一方で試料となるのはタンパク質や細胞ですので、この取り扱いになれるのには手順の多さに四苦八苦しました。

秋田で始めた研究の最初の論文が出版された頃には、もう2年が経過していました。考えていた以上に時間が掛かるものかと思いつつも、出版されたことをとても嬉しく思いました。恥ずかしながら、今でもそこまでハイペースでの仕事は出来ていませんが、周囲の先生方のご指導と、一緒に研究を進めてくれる学生の皆さんのお陰で、少しずつ自分の目標へと近づいている気がします。



研究室旅行(京都・天橋立にて)



秋田ダイハツ販売株式会社は、
夢を追う秋田の若者を
応援しています。

Jリーグ通算出場試合は340試合、常にプロサッカー選手として第一線で活躍してきた熊林親吾がついに秋田に帰ってくる。彼は言う、「秋田県の子供たちのために秋田にJリーグのチームを作りたい」と。彼の願いが叶うかどうか。プレーだけじゃない。彼の生き様に注目してほしい。自分の夢を追って生きる人の姿は美しい。秋田ダイハツ販売株式会社は夢を追う秋田の若者を応援しています。

Model: ブラウブリッツ秋田 MF 熊林 親吾

BLAUBLITZ

特別装備満載!
秋田限定マカロンモデル!

pramo. & Cocoa Mira

秋田限定発売
macaron model
マカロンモデルJC08モード
2WD/CVT
26.0
km/ℓ秋田ダイハツは今年で65周年
秋田県軽自動車販売数 8年連続軽シェアNo.1

かわいい内装もお気に入り♡

秋田ダイハツ

本社/秋田市御所野湯本三丁目1-7号 Tel.018-889-8700(代)

http://dd.daihatsu.co.jp/akita/ 秋田ダイハツ 検索

【お客様相談室】

本社 ☎ 0120-62-4125

受付時間: 午前9時から午後5時(土・日・祭日を除く)

サービス工場も土・日・祭日(祝日は定休日と異なります)

□大館店 ☎ 0186-42-3208

□能代店 ☎ 0185-52-1225

□土崎店 ☎ 018-846-5621

□八橋店 ☎ 018-862-4115

□仁井田店 ☎ 018-839-2061

□本荘店 ☎ 0184-22-3027

□大曲店 ☎ 0187-62-3285

□角館店 ☎ 0187-54-3507

□横手店 ☎ 0182-32-0256

□湯沢店 ☎ 0183-73-8113

もっと軽にできること。



DAIHATSU



秋大生、求む!!

クラブ・サークルの取り組みをアプリーレで紹介してみませんか。企画広報課までお気軽にご連絡ください。

- お問い合わせ先 **秋田大学 企画広報課**
- TEL:018-889-3019 ●FAX:018-889-2219
- E-mail:kouhou@jimui.akita-u.ac.jp

秋田大学で唯一の吹奏楽部が「秋田大学吹奏楽団」です。100名を超える部員が所属し、団長をはじめ、運営のすべてを学生で行っています。中でもこだわっているのが「学指揮」による演奏。学生自らが指揮を行い、東北大会で金賞獲得を目指しています。

昨年12月から団長を務めるのは教育文化学部2年の伊藤千佳さん。「個人ごとに異なる楽器を演奏しますが、それが合わさったときの一体感はたまりません」と吹奏楽団の魅力を語っています。

秋田大学報道局(AUP)
濱田 俊太郎

サークル紹介

club activities

秋田大学吹奏楽団

吹奏楽団は年に3回、大きな公演を行っています。5月の定期演奏会、12月の「Sound Sketch」(県内公演)、そして2月24日に控えた「三種町音楽演奏会」です。三種町と吹奏楽団との交流は長く、旧山本町の頃から続いています。会場となる「山本ふるさと文化館」が竣工した平成7年から秋田大学吹奏楽団と三種町内3つの中学校吹奏楽部が合同で行っています。毎年の演奏会では300名収容の客席が満席になります。

三種町から「生の音楽に触れることができる」と大きな期待が寄せられている吹奏楽団。伊藤さんは「私たち大学生も地元の中学生と演奏できるのを楽しみにしています。ぜひ、多くの方に聞いてもらいたい」と意気込みを語りました。演奏会を良いものにしようと、団員は練習にますます力を入れていきます。



医学部附属病院前の様子

秋田大学は平成24年11月21日、12月26日の期間、手形キャンパスでイルミネーションを点灯しました。

テーマは「光と歌に願いを込めて」。初日には点灯式と秋田大学混声合唱団「エース・クワイア」によるミニコンサートを開催しました。さらに点灯期間中、クリスマスにちなんだミニコンサートも開催。幻想的な灯りが辺りを照らすキャンパス内に、エース・クワイアの美しい歌声が響き渡りました。夜の学園街を明るくし、



混声合唱団が歌声を披露



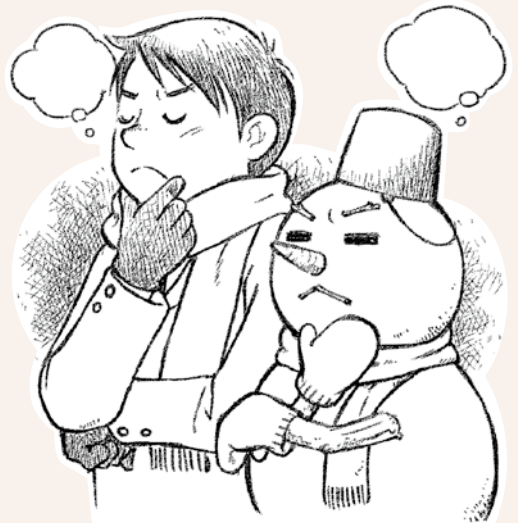
光と歌に願いを込めて
イルミネーション点灯

学生だけではなく地域住民の方々と秋田大学に親しんでもらえるようにとの願いを込め、平成20年からイルミネーションの点灯を実施しています。平成23年は東日本大震災の影響もあり中止したため、今回は2年ぶりの点灯となりました。

また、平成24年12月11日、平成25年1月15日には、本道キャンパスにある医学部附属病院でもイルミネーションを点灯。学生や教職員ばかりでなく、病院にいらした方々の癒やしとなったようでした。

Column

文章力up



雪がもさもさと降っています。見慣れていたはずの通勤路も厚化粧。果たしてどんな姿だったのか、思い出すのは春を迎えてからでしょうか。

北国・秋田の暮らしは、常に冬を意識して時が過ぎます。猛暑の中でも「今年の雪はどうか」と心配し、稲刈りが終わるともう、短い秋の心地良さを惜しみつつ、がらんとした水田が、白一色に染まる日を想像してしまふ。

雪に覆い隠された姿が「本質」なのか、雪は「本質」を隠してしまう存在なのか。答えは共に秋田の姿、ですね。

就職試験に挑む学生さんたちが、学生時代を過ごした秋田を紹介する場合、雪の姿を描きますか、それとも他の季節を伝えますか?どちらの場合でも「冬」は重要な舞台回しの言葉。欠くことのできない要素であり、書き(と)らえ方によつて長所にも短所にもできる。ストリートの魅力もあり、同

時に他の季節の引き立て役にもなれる。冬はある意味で、この地に暮らしていることが実感できる、考えることにつながる貴重な存在(季節)だとも思っています。

さて今回は「本質」について、ちよつとだけ考えてみましょう。

なぜ、その職業を目指すのか。なぜ、その会社を受けることにいきつたのか。理由(動機)は様々ですね。

秋田大学には「地元に残りたい」という学生が少なくありません。ある意味で素晴らしい。生まれて育った場所で職を得て生きていく。一方で「臆病」だと思われる危惧もあります。地元企業も今、進んで海外進出もしています。なにがなんでも秋田を離れたくない、というだけでは通用しません。では、エントリーシートにどう書くか。入社のためとはいえず、嘘は書けません。ならば「長男であり、地元に残りたい。他の場所で働くことはできない」と素直に書くしかない。そのうえで自分を秋田にとどめること(企業にとっての)メリットを加える。これは相当難しい作業ですが、考えるしかない。なぜ難しいかはわかりますよね。その会社に魅力があるのではなく、魅力を感じているのは秋田、ということ、企業は「そこ(秋田)にあるから」というのが選んだ理由だからではないでしょうか。もともと企業の中には、徹底した「地元」企業もありますから、そんな会社を探すのも「就活」といえるのでしよう。

「給与がいいから」「福利厚生が良いから」というのも立派な理由でしょう。でも、そのままだけで考えてみましよう。なぜ、高給手厚い福利厚生なのか。「人が財産」という姿勢を貫き、経営に反映させているのかもしれない。そこを書きたい。しかし、高待遇には必ず「裏」があります。それは、求めているスキルは高く、しっかりと働くということ。それに応える「熱意」をどう書き込むか。これまた長い冬の間に考えてみましょう。

このコーナーで何度か書きましたが、考えることが①。書く作業は②です。くれぐれもHPやパンフレットの丸写しはNOです。これは、考える材料にすぎません。

秋田大学国際課長

(元朝日新聞記者)

高橋 康弘

福島が抱える問題を 多くの人と一緒に考えたい

「FUKUSHIMAをこころつなぐプロジェクト」は東日本大震災後、「福島が抱える問題を多くの人と一緒に考えたい」という主旨で秋田大学の教員と学生が立ち上げました。



いた看板に絵を加えたり、お互いの気持ちほぐれる時間となりました。

12月9日は、学生交流ワークショップを企画。いわき明星大学、福島学院大学、秋田県立大学と秋田大学の学生たちが各地域の活動を報告し合いました。仮設住宅の集会所で定期的に遊んでいることや、足湯や地図づくり、いまも生活が不安定で先が見えない人たちの傾聴ボランティアについてです。秋田大学の学生は、震災時に様々な不安を感じた子どもたちが自由に出入りできる空間、自分が受け入れられる空間、自分の助けを得て、学生支援教室「きびたきの家」を運営していることなどを話しました。そして、ボランティアを通して、自分自身の成長

第二回目は、平成24年12月8日・9日にイベントを開催しました。12月8日は、秋田に避難している親子を大学に招き、郷土料理のきりたんぽ鍋を作って味わいました。親子が楽しめるようにと、アカペラで歌を唱い、管楽器演奏もしました。外で雪がしんしんと降る中、賑やかで楽しいひと時を過ごすことができました。参加した母親が料理をしている子どもの写真を撮ったり、子どもが学生の描

や職業について考えるようになったことも語られました。第二回目は、平成25年2月9日・10日に「学校の在り方を考える教育のつどい in 秋田2013」を秋田県内の高校教員と共催で開催する予定です。昨今、いじめや不登校、体罰など学校の在り方が問われていますが、このプロジェクトを「FUKUSHIMA」としたのは、「今、生きづらさを抱えている人たち」ところをつなげたい」という思いからです。その場所の2月9日には「学校と地域が育む生徒の成長」「生きづ

らさを抱える生徒の支援」などをテーマとした分科会を、10日にはシンポジウムを企画しています。秋田大学教育文化学部の佐藤修司教授が「東日本大震災から考える学校の在り方」、青森県立三沢高校の酒田孝さんが「被災地募金に取り組んだ生徒会実践」、秋田大学生の遠藤大輝さんが「FUKUSHIMAをこころつなぐプロジェクト」と題して話題を提供します。青森、岩手、福島、埼玉、東京、静岡、熊本からも学生や教員が参加する予定です。皆様の多数のご参加をお待ちしております。



学校の在り方を考える教育のつどい in 秋田 2013

- 開催日程: 平成25年2月9日(土)13:00～、10日(日)9:00～
- 開催場所: 9日／秋田大学教育文化学部1号館309
10日／秋田大学60周年記念ホール
- お問い合わせ先: FUKUSHIMAをこころつなぐプロジェクト
☎018-889-2552
E-mail: kmochizuki@gipc.akita-u.ac.jp

国際交流

ブータンから「幸福」を伝授 秋田大学でシンポジウムを開催



長との昼食会、伊藤附属病院長、高島看護部長らとの附属病院内の視察、シミュレーション教育センター、NICU(新生児集中治療室)、プレイルーム、保健学専攻の各実習室を回られ、大友保健学専攻長らとも懇談され、医学系研究科の教職員の全面的な協力を得て、一行は貴重な時間を過ごされた様子でした。最先端のシミュレーション教育センターや保健学専攻での視察は、ブータンでの医学保健を考える機会にも繋がったようです。

「国民総幸福(GNH)」の考え方で注目を集めるブータン。同国の王立ブータン大学と秋田大学とが、国内で初めて国際交流協定を締結したのは平成24年7月のことです。

第1弾の「交流」として、秋田で共同シンポジウムを実施。王立ブータン大学と秋田大学との交流が、本格的にスタートを切りました。ブータンの教員3名を招き、11月8日、秋田大学60周年記念ホールで、シンポジウム「ブータンに学ぶ『幸福学』」を開催。学生、教職員、一般市民ら約100人が耳を傾け、ブータンを通じて「幸福」について考える時間を共有しました。

吉村学長の挨拶、榎本国際交流センター長のブータンの概要紹介の後、ネザン・ワンモ王立健康科学院産学連携学部長は「ブータン王国入門」と題し、ブータンの歴史や地理、風習を説明。ルンテン・ギャツォ言語文化学院院长は「幸福…人生の目的」をテーマに、幸せの指標としての経済的要素を肯定しつつも、「家族や社会との関わり、自然環境や文化とのバランスが重要であること」を強調されました。ドルジ・ティンレー研究・渉外担当理事は「ブータンにおけるGNH教育…政策と実践」について、GNH理念に基づく教育現場の具体的な取り組みについて講演されました。講演後の質疑応答では学生たちも積極的な質問。ルンテン学院院长らは笑顔で答え、具体例や考えを丁寧に示してくれました。

秋田市に滞在中、一行は医学系研究科を視察されました。澤田医学系研究科長と石井国際交流委員
また、シンポジウムに合わせ、インフォメーションセンターでブータン展を開催。ブータンの子どもたちや風景の写真、現地の民家を再現したパネルの他、「ゴニキラ」と呼ばれる民族衣装やチベット仏教の仏具など、ブータン独自の品を展示し、秋田にいながらにしてブータンの雰囲気を感じることができる貴重な場となりました。

平成25年2月には、医学系研究科保健学専攻の教授2名が王立ブータン大学を視察し、講義を行う準備を進めています。

国際課 宮崎 舞



横手市児童センター

横手市交流センターY²ぶらざ【横手市交流センターY²ぶらざ】

- 開館時間／9時～22時
- 休館日／12月30日～1月2日、メンテナンス等の臨時休館あり
- お問い合わせ／☎0182-32-2148

秋田県内では今一つ話題になっていませんが、横手市が様々な指標から「出産・子育てしやすい街」全国1位というランキングが発表されました（「週刊東洋経済」12・10号）。横手市広報では、五十嵐忠悦市長が「単純比較はできませんが」と断りつつ、子育ては大人の責任であるという視点から、今後とも安心して子育てし

やすい街づくりに努力する旨のコメントをしています。ところで、横手分校は横手市交流センターY²（わいわい）ぶらざの3階にありますが、2階には児童センターが入っています。エレベーター嫌いの私が階段を昇るたび、児童センターの様子が目に入ります。12名のスタッフが幼児を中心に子どもの居場所・子育て

支援を行っており、利用者は横手市内のみに留まらず、市外、時には県外からもなんと利用料は無料です！スタッフが親たちからの相談に応じたり、また、親同士の自然な交流も見られ、最近、小さい子どもの声がとんと聞こえない当地域では「異彩」を放っています。例によってここから話が飛躍します。少子化対策は県（国）の喫緊の課題です。児童センターを中心とした横手市の子育て支援は順調に推移していますが、秋田県の様子は10年後の全国の姿を先取りしていますので、市の子育てを学術的な視点で真正面から調査研究対象として取り上げ、外部に向けて良質な情報発信をする意義が十分にあると思います。この間、市の子育て支援課長や児童センターのスタッフとも話し合い、また、秋田大学の教員からの助言も踏まえ、当面は教育文化学部の「卒論及び修士論文テーマ公募」に沿って対応していきます。若い感性を持つ学生・院生諸君、頼みますよ！

子どもの居場所づくり 全国最先端

秋田大学 分校長 だより

Vol. 05

横手分校長
根岸 均



秋田大学大学院工学資源学研究所附属
鉱業博物館
Mineral Industry Museum of Akita University
No.3

**自然界が織り成す造形美
鉱物の魅力に迫る**

鉱業博物館は、国内及び世界各地から産出した様々な色や形の鉱物、珍しい岩石や化石などを多数展示しています。その中から、今回は「マンガン鉱」をご紹介します。

マンガンはレアメタルの二種で、電池に利用されるなど貴重な資源です。鉱業博物館で展示しているマンガン鉱は、岩手県の野田玉川鉱山で採取されたもので、第四代で、第四代の秋田大学長の渡邊武男氏から寄贈されました。

このマンガン鉱には、マンガンを含む5種類の岩石・鉱物が入っています。強い力を受け大きくうねった模様。この美しい模様と色彩は「地球が生み出した芸術品」と言えます。この標本には分身が存在します。実は、大きなマンガン鉱を4つにスライスし、当鉱業博物館の他、北海道大学、東京大学、国立科学博物館に分けて納められたのです。自然界のあらゆるものは唯一無二ですが、この4つのマンガン鉱が地域を超えた深いつながりを感じさせてくれます。



標本内に含まれている岩石・鉱物／Pe:ベグマタイト、Ch:含マンガン珪石(チャート起源)、Y:ヨシムラ石、Rh:バラ輝石、T:テフロ石



【鉱業博物館】

- 開館時間／9時～16時
- 休館日／12月26日～1月5日
- 入館料／〈個人〉大人250円
〈団体(30名以上)〉大人190円
※高校生以下無料
- お問い合わせ／☎018-889-2461



**まちのみんなに
「ナイス」なスーパー！**

nice ナイス

外旭川店 (018) 868-2611
仁井田店 (018) 835-3111
新屋店 (018) 828-6911
割山店 (018) 865-6911

追分店 (018) 873-3211
八橋店 (018) 865-2211
仁井田南店 (018) 826-1811
土崎店 (018) 857-5211

お客様相談窓口(10:00～19:00)
0120-28-9995



阿波 由華さん
Awa Yuka

勤務先

秋田銀行本店
営業部営業課教育文化学部・学校教育課程
平成22年3月卒業

【座右の銘】

努力に勝る天才なし

Answer



② 数ある接客業の中でも「銀行員」という仕事は、お客様の一生に関わりサポートできる仕事だと考えたからです。



③ 主に窓口で日々来店されるお客様の対応をしています。お客様のご要望は多種多様ですので、常にお客様の立場に立った対応を心がけています。



④ できるか、できないかではなく、どうすればお客様にとってベストなお取引となるかを考えるようにしています。



⑤ メケール(指先の滑り止め)。紙幣や伝票をめくるスピードが断然速くなります(^^)♪



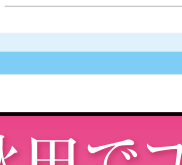
⑥ 時間の使い方です。学生時代は自分のペースで自由に生活していましたが、社会人になってからは、どんな場面でも時間が限られるので、メリハリのある生活をしています。



⑦ 冬季期間中はもっぱらスノーボードです。休日の予定はスノーボードでいたい埋まります(笑)



⑧ 海洋生物学実習です。1週間程度、泊まりがけで生物の収集、スケッチ等を行いました。普段目にする事のない生物も多く、印象に残っています。



⑨ マチュピチュを見に行くこと！テレビや雑誌で見て以来ずっと夢見っていますが、社会人になるとお金の都合はついても時間の都合はなかなかつきません(T.T)…。



⑩ 社会人になり丸3年、後輩もできました。入行当時憧れた先輩方のようになりたいと思っています。

⑪ 今やりたいと感じていることを思い切りやってみてください。全力で取り組み必ず皆さん自身の糧になります！



齊藤 由人さん
Saito Yoshihito

勤務先

秋田県観光文化スポーツ部
スポーツ振興課国体推進班工学資源学部・情報工学科
平成24年3月卒業

【座右の銘】

質実剛健

Answer



② 生まれ育った秋田県のために働くことに、やりがいがありそうだと感じたからです。



③ 今年2月に鹿角市で開催される「あきた鹿角国体2013」の担当をしています。各都道府県の来会人数の調査と取りまとめ、大会プログラムの作成、PR活動などを行っています！



④ 文書や資料を作成する際に何度もミスがないかチェックしています。また、より読みやすい文章になるよう心がけています。



⑤ スケジュール帳、ノート、時計です(^^)



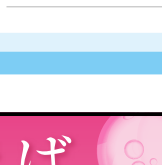
⑥ 学生の頃と比べ、自由な時間が少なくなりました。そのため、時間の有効活用をより強く意識するようになったと感じています。



⑦ スポーツ観戦です。ボランティアもして「スポーツボランティアあきた」という団体で、ノーザンハピネッツ、ブラウブリッツ、ノーザンブリッツ等の試合の運営補助を行っています!!



⑧ アイスホッケー部に所属していましたが、最後の大会2週間前からキーパーに転向したことです。予想以上に難しく、ダメダメでした…失点王でした(笑)。



⑨ 旅行に行くべきだったと感じています。社会人はまとまった休みがなかなか取れないので、学生のうちに様々な土地を見て回りたいと思います。

⑩ 仕事に関して知らないことがたくさんあるので、もっと業務の知識を増やしたいです。あとは秋田県内各地の温泉巡り。温泉とともに地酒も堪能したいです♪

⑪ 大学生は自由な時間が多く取れるので、有意義に時間を活用してください。勉強でも遊びでも何でも良いです。時間は無限じゃないですよ!!

先輩なう。

様々な現場で活躍している秋田大学OB・OGの「今(11月)」をお届けします。ひと足先に秋田大学を卒業した先輩たちからのメッセージです。

【質問内容】

- 現在の所属と名前、卒業年、卒業した学部、学科
- 就職先を選んだ理由は？
- 仕事内容は？
- 仕事をやる上で心がけていることは？
- 仕事上の必需品は？
- 「社会人になって変わった」と感じることは？
- 休日の過ごし方は？
- 印象に残る学生時代の思い出は？
- 学生時代にやってよかったこと、やり残したことはありますか？
- 今年の抱負は？
- 後輩のみなさんにメッセージをどうぞ

秋田でコンタクトレンズと言えば 秋田キャッスルホテル2F「ひろこうじレンズセンター」 県域“最安値”の維持に努めて営業中!!

1日使い捨てタイプ



各有名メーカー品ラインアップ
豊富に取り揃え!!

1日使い捨てタイプ



カラーコンタクト



2週間使い捨てタイプ



2週間使い捨てタイプ



国内外有名ブランド
メガネも多彩なライン
アップ!!

フレーム + レンズ + ケース
3,980円~



ひろこうじ レンズセンター
Hirokoji lens center
0120-585-609

秋田キャッスルホテル店
■営業時間 10:00~19:00
■定休日 火曜日
Tel.018-874-9124

フォンテ秋田店
■営業時間 11:00~20:00
■定休日 年中無休
Tel.018-893-4423



メンバーズカードを
お持ちの方は
レンズのご予約ができます。
ひろこうじレンズセンター 検索

ホームページ・携帯電話
サイトから診療予約が
できるようになりました。
千秋ひろこうじ眼科 検索

■ 教育研究プログラム等採択状況
(平成24年10月1日～12月31日採択分)

制度名	プロジェクト名	事業期間 (年度)	交付金額等(単位:千円)	所属・事業代表者
博士課程教育リーディングプログラム	レアメタル等資源ニューフロンティアリーダー養成プログラム	24～30年度	1,499,500(7年間) 71,988(24年度分)	工学資源学研究科長 小川 信明
平成24年度 研究成果最適展開支援プログラム(A-STEP) シーズ顕在化タイプ	低酸素過電圧の酸化物触媒を分散したヘテロ構造Pb基電極の製造とZn電解プロセッシング用不溶性アノードへの応用	24～25年度	6,999	工学資源学研究科 田口 正美
平成24年度 第2回 研究成果最適展開事業 研究成果最適展開支援プログラム(A-STEP) フィージビリティスタディ・ステージ 探索タイプ	慣性・力覚センサシステムによる運動力学解析装置の開発	24～25年度	1,690	工学資源学研究科 廣瀬 圭
平成24年度 第2回 研究成果最適展開事業 研究成果最適展開支援プログラム(A-STEP) フィージビリティスタディ・ステージ 探索タイプ	液晶レンズを用いた近赤外線血流撮像システムの開発	24～25年度	1,690	工学資源学研究科 河村 希典
平成24年度 第2回 研究成果最適展開事業 研究成果最適展開支援プログラム(A-STEP) フィージビリティスタディ・ステージ 探索タイプ	ボルト締結状態評価のための非線形超音波検出トルクレンチの開発	24～25年度	1,690	工学資源学研究科 福田 誠
平成24年度 第2回 研究成果最適展開事業 研究成果最適展開支援プログラム(A-STEP) フィージビリティスタディ・ステージ 探索タイプ	テラヘルツ分光分析を用いた同族繊維の識別法開発に関する研究	24～25年度	2,990	工学資源学研究科 倉林 徹
平成24年度 第2回 研究成果最適展開事業 研究成果最適展開支援プログラム(A-STEP) フィージビリティスタディ・ステージ 探索タイプ	熔融塩を媒体とした希土類元素の電析によるニッケル-水素2次電池用負極の作製技術の開発	24～25年度	1,690	工学資源学研究科 原 基
平成24年度 第2回 研究成果最適展開事業 研究成果最適展開支援プログラム(A-STEP) フィージビリティスタディ・ステージ 探索タイプ	X線CT装置撮影時に使用する顔面装着型金属ハレーション除去フィルターの開発	24～25年度	1,690	附属病院 田中 清志
平成24年度 第2回 研究成果最適展開事業 研究成果最適展開支援プログラム(A-STEP) フィージビリティスタディ・ステージ 探索タイプ	製紙スラッジを原料とした多孔質粒状ハロゲンガス捕獲材製造技術の開発	24～25年度	2,990	工学資源学研究科 和嶋 隆昌
平成24年度 第2回 研究成果最適展開事業 研究成果最適展開支援プログラム(A-STEP) フィージビリティスタディ・ステージ 探索タイプ	植物工場における酸素溶解水の生成と養液調製に関する技術開発	24～25年度	1,690	工学資源学研究科 足立 高弘
平成24年度 第2回 研究成果最適展開事業 研究成果最適展開支援プログラム(A-STEP) フィージビリティスタディ・ステージ 探索タイプ	進行性前立腺がんの予後予測を目的とした一塩基多型セットの開発	24～25年度	1,690	医学系研究科 土谷 順彦
平成24年度 第2回 研究成果最適展開事業 研究成果最適展開支援プログラム(A-STEP) フィージビリティスタディ・ステージ 探索タイプ	緑内障性視神経障害に対するニューロステロイド型神経保護治療薬の開発	24～25年度	1,690	附属病院 石川 誠
平成24年度 第2回 研究成果最適展開事業 研究成果最適展開支援プログラム(A-STEP) フィージビリティスタディ・ステージ 探索タイプ	新規化合物SST-VEDを活用したヒト発毛促進剤の開発	24～25年度	1,690	医学系研究科 夏井 美幸
平成24年度 地域産学官連携科学技術振興事業費補助金 イノベーションシステム整備事業 大学発新産業創出拠点プロジェクト(プロジェクト支援型)	紫外可視光変換材料の開発および量産技術の確立と事業化	24～26年度(予定)	45,547 (金額は24年度分のみ)	工学資源学研究科 辻内 裕

■ 人事異動情報(平成24年10月2日～平成25年1月1日)
【掲載対象は、部局長等・教授以上】

発令年月日	新配置	旧配置	氏 名
教職員〔採用・退職・昇任等〕			
平成24年12月6日	辞 職	大学院医学系研究科 教授	荻 原 順 一
平成24年12月10日	退 職	大学院工学資源学研究科 教授	長 谷 部 薫

■ 海外渡航(学生)【学生の海外派遣事業等】

事業名または経費	所属学部等名・氏名	留学先大学名(国名)	渡航期間
秋田大学学生 海外派遣支援事業	教育文化学部 国語言語文化課程 国際コミュニケーション選修 [3年]小野寺 暁人	交換留学／ セント・クラウド州立大学 (アメリカ)	25.1.4～ 25.12.28
秋田大学医学部 医学科 国際交流基金	医学部医学科 [5年]面川 育	短期海外学修／ ハワイ大学(アメリカ)	25.2.4～ 25.3.1
秋田大学医学部 医学科 国際交流基金	医学部医学科 [5年]高橋 さゆみ	短期海外学修／ ハワイ大学(アメリカ)	25.2.4～ 25.3.1

冬の電気の使われ方のイメージ

朝と夕方を中心に電力需要が高まります。
特に夕方は照明など、ご家庭での電気のご使用量が増加します。

テレビを見ないときは主電源を切る

使用していない部屋の照明は消す

日頃より
電気を大切に
ご使用いただき
ありがとうございます。

一つの部屋に
家族みんなで集まったら
今日あったできごとを
たくさんお話ししよう。

話はずんで
みんなで笑って…

これも一つの
節電なんです。

無理のない範囲での
節電に
ご理解とご協力を
願います。

©東北電力のホームページでは、節電方法や電力の使用状況などをご紹介します。 <http://www.tohoku-epco.co.jp>

ニュース & トピックス

News&Topics

「資源学シヨートステ イプログラム」を実施

10月15日～11月9日までの約4週間にわたり、「資源学シヨートステイプログラム」を実施し、モンゴル・カザフスタン・ボツワナの3カ国の協定校から計9名の研修生を受け入れました。

研修生は、国際資源学教育研究センターの教員等による専門講義をはじめ、自国の資源開発の現状と課題をまとめたレポートの発表や秋田県内を中心とするフィールド調査などのプログラムに取り組みました。

11月9日の閉講式では、国際資源学教育研究センターの水田敏夫センター長から研修生に修了証書が授与されました。研修生を代表し、東力ザフスタン工科大学のアイゲリムさんが「資源について多くのことを学び、また秋田の素晴らしい自然と日本人の優しい人情に触れることができ、忘れ難い思い出となった」と挨拶しました。



防災・日本再生シンポ ジウム地震災害にお ける防災人育成シン ポジウム～東日本大 震災の教訓をスタ ートとして～を開催

10月30日、大仙市大曲市民会館で平成24年度防災・日本再生シンポジウム地震災害における防災人育成シンポジウム～東日本大震災の教訓をスタートとして～を開催しました。

防災・減災活動において、地域で自発的に活動できる人材(防災人の育成)を育てることが目的で、県内各自治体職員および市民、約260名が参加しました。

吉村昇秋田市長、栗林次美大仙市長の挨拶後、西木正明秋田大学客員教授と本田敏秋若手県議員市長が講演しました。講演後は、パネルディスカッションを実施。防災人を育成するために、行政・市民それぞれの立場から意見交換が行われました。



秋田大学全学駅伝 競走大会を開催

11月3日、秋田大学全学駅伝競走大会を開催しました。男子の部(全10区間/41.6km)、女子の部



(全6区間/14.0km)の2コースがあり、大学の恒例行事として男女合わせて37チームが健脚を競いました。

秋田大学オフィシャ ルいぶりがっこい ぶりがっこい 学生が大根の漬 込み作業を実施

11月11日、秋田大学教育文化学部の学生が横手市山内三又地区で「いぶりがっこ」づくりの一環として、大根の洗浄と漬け込み作業を行いました。学生は漬け材でベタベタになりながらも、地元の方と協力し根気よく漬け込み作業に取り組みました。

今回漬け込んだいぶりがっこは、平成25年3月頃から販売する予定です。

Pickup

厚生労働省の 「均等・両立推進企業表彰」を受賞

秋田大学は、厚生労働省の「均等・両立推進企業表彰」均等推進企業部門の秋田労働局長優良賞を受賞しました。
均等・両立推進企業表彰は、男女が能力を発揮できる職場環境づくりにつなげようと平成11年度に創設。女性の能力を発揮させるための取り組み等を進める企業・団体が対象で、公募で選ばれ、均等推進企業部門



秋田大学インフォメーションセンターでこれまでの男女共同参画推進に関わるポジティブアクションとワークライフバランスの実現に向けた取り組みの内容をパネルで紹介しています。

湯沢市と連携協定 を締結

秋田大学と秋田県の南部に位置する湯沢市は11月20日、幅広い分野で相互に協力し、地域社会の発展に寄与することを目的に連携協定を締結しました。

締結式では、吉村昇秋田大学長が「湯沢市は資源も豊富。大学の力を結集して発展をサポートしていきたい」と挨拶しました。齊藤光喜湯沢市長も「ジオパーク構想をより質の高いものにするためには、ジオパークの根幹をなす学術的な分野を厚くしていかなければならない。秋田大学との連携は非常に心強い」と話しました。今後は、湯沢市が力を入れているジオパーク構想の推進、防災・減災対策につ



て、学術研究機関として協力するほか、学生力の活用による地域振興などを協働で進めていくこととしています。協定締結後には、秋田大学教育文化学部の林信太郎教授による講演会を開催しました。

学生応援キャンペーン

平成25年2月12日(火)～4月30日(火)

ケーブルインターネット 基本料金/月(税込)	
ハイパープレミア120M	5,250円
パーソナル25M	3,990円
パーソナル10M	3,570円
パーソナルライト	2,940円

工事費用 ※インターネット申込み時は別途事務手数料840円(税込)がかかります。
※キャンペーン工事費用はインターネット申込み時のみ適用となります。

通常 5,250円 → 15,750円

→ 0円



一人暮らしの高校生、大学生、専門学校生の方がキャンペーン対象となります。
・ケーブルインターネット パーソナル10M以上のお申し込みに限ります。
・地域によっては、引き込み工事が出来ない場合があります。



キャンペーンの詳細は秋田ケーブルテレビまでご連絡ください
CABLE NETWORKS AKITA
秋田ケーブルテレビ
〒010-0964 秋田市八橋どうじょう沼町1-59 営業時間9:00～18:00まで(土日祝も休まず営業)

http://www.cna.ne.jp
秋田ケーブルテレビ 検索
E-mail → info@cna.ne.jp



秋田大学総合技術部 第四回テクノフェスタを開催

12月1日、秋田拠点センターアルヴェで「秋田大学総合技術部第四回テクノフェスタ」を開催しました。普段、教員や学生の教育研究活動のサポートを行っている技術系職員の仕事を広く知ってもらい、その専門技術を地域に還元することを目的としています。児童・生徒が楽しみながら、理工系に興味を持つもらえるような技術体験型の企画を実施し、会場は多くの家族連れで賑わいました。

会場には14種類の体験コーナーを設置。二足歩行ロボットの操作やタイルモザイクアート体験、パンタグラフの作成などのコーナーが用意され、参加した子どもたちは実験や工作を通じて科学の魅力に触れました。



平成24年度秋田わか杉科学技術奨励賞を受賞

大学院工学資源学研究所の小松喜美講師(機械工学専攻)と吉村哲准教授(附属環境資源学研究所)が平成24年度秋田わか杉科学技術奨励賞を受賞し、12月10日に秋田県庁で伝達式が行われまし

た。本賞は、若手研究者の研究開発意欲を喚起することにより、優れた若手研究者が持続的に輩出される環境を整備し、秋田県の新産業・新事業の創出に資することを目的として、県が平成19年度に創設したものです。

伝達式では、佐竹敬久知事より賞状・副賞(研究奨励金15万円)の伝達後、研究内容について懇談が行われました。



ジョブ・フェアー (企業合同説明会)を開催

12月16日、秋田ビューホテルで「ジョブ・フェアー(企業合同説明会)」を開催しました。県内外から169社の企業が参加。他大学も含め総勢465名の学生が参加し、各々関心のある企業ブースを積極的に訪問しました。



中学生科学教室「カラフル・ケミストリー」色と化学のふしぎな関係」を開催

1月8日、横手高等学校青雲館で中学生科学教室「カラフル・ケミストリー」色と化学のふしぎな関係」を開催。大学院工学資源学研究所の井上幸彦講師が色や光を楽しめる化学反応実験を紹介しました。



Pickup

「百周年記念館」が完成、記念式典を開催

平成23年度に秋田大学工学資源学部が創立100周年を迎えたことを記念し、学部の前身である秋田鉱山専門学校本館の外観を再現した「百周年記念館」が、新たな大学のシンボルとして手形キャンパスに完成しました。鉄骨2階建てで、バルコニーがついた白い外壁が特徴。夜にはライトアップしています。



秋田鉱山専門学校本館を再現した百周年記念館

記念館は、新たな大学のシンボルとして手形キャンパスに完成しました。鉄骨2階建てで、バルコニーがついた白い外壁が特徴。夜にはライトアップしています。

◆秋田大学鉱山専門学校は、1910(明治43)年に国内唯一の官立鉱山専門学校として誕生。鉱山学部を経て現在の工学資源学部となった。



1910(明治43)年創立当時の秋田鉱山専門学校

ものづくり創造工学センター 学生自主プロジェクトの紹介

センター長

神谷 修

Kamiya Osamu

ものづくり創造工学センターでは、卒業研究や課外活動、そして学生自主プロジェクトの支援を通して、学生によるものづくり活動を推進しています。学生の皆さんには、これまで旋盤・フライス盤・レーザー加工機などの工作機械を自由に利用していただいています。この度、最新の3次元造形機が仲間入りしました。3Dプリンターとも呼ばれるこの機械は、3次元で設計したデータをそっくりそのまま造形することができ、優れたモノです。いつでも利用可能です。是非ご活用ください。

カジヤプロジェクト

突然ですが、皆さんは法隆寺に行ったことはありますか？

法隆寺の西院伽藍は世界最古の木造建築物群として知られています。木造建築において、木を山から切り出すところから製材・組立まで、一貫して携わる道具があります。それは皆さん、お気づきのとおり「刃物」です。法隆寺創建の際、角材や板を作るために、切り倒した檜の太木を斧(おの)や楔(くさび)で割り、鉋(ちような)や檜鉋(やりがんな)で仕上げている。大陸伝来の鍛冶技術によって火造られたこれらの刃物が、今に続く歴史的建造物を創造してきました。その後、鍛冶技術は日本刀を代表とする日本独自の技術へと洗練されていきました。今では、私たちの身の



回りの製品にも伝統技術が生かされています。このような背景のもと、私たちは「先人の技術を学び、自分たちで使える刃物を作れないだろうか？」という思いからカジヤプロジェクトを発足しました。

現在、私たちは日本の刃物の特徴でもある「鍛接(たんせつ)」という技術に挑戦しています。鍛接とは、異なる種類の鉄を接合する技術のことです。職人の方々はいとも簡単にやっつけてみても、非常に難しく、鉄はなかなか接合されません。原因を考察し、接合面の酸化被膜の除去と目標温度でじっくりと保温することで、最近はある程度の割合で接合できるようになりました。コツを掴んで鍛接の成功率を高め、今後の活動に生かすことが平成25年度の目標です。それに加えて、日本独自の直接製鉄法である「たたら製鉄」によって得られた玉鋼(たまがね)を用い、意欲的に製品開発を行っていきたいと思います。

カジヤプロジェクトでは常時メンバーを募集しています。興味を持った方、やってみてみたい方は、私たちと一緒に鉄を加工してみませんか。

工学資源学部地球資源学科

七尾 純平

イベント&講座・講習会

〈催し物〉……………

秋田大学キャリア教育FDシンポジウム 今、なぜキャリア教育なのか

キャリア教育の観点から、いま必要とされている大学教育のあり方について考える。

- 2月7日(木)14:00～17:00
- 秋田大学ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー
- 入場無料 ☎018・889・3194

平成24年度 秋田大学東京サテライト教養セミナー ブータン王国から学ぶこと ～真の幸せとは～

ブータン王国の歴史や文化、政策や日本との関わりなどについて解説。ブータン王国への理解を深めることで「真の幸せ」とは何かを考える。

- 2月8日(金)18:30～20:00
- 東京工業大学キャンパス・イノベーションセンター東京(東京都港区芝浦3-3-6)
- 入場無料 ☎018・889・2270

平成24年度 秋大憩いのコンサート

【第29回】●2月17日(日)14:00～
ザ・ロマンティック・ピアノ／おしゃべりピアニスト
「アラタマン」による華麗なるワンマンショー

【第30回】●3月23日(土)14:00～
美しい春の調べ／春にちなんだ歌とピアノの名曲
●秋田大学インフォメーションセンター
●入場無料 ☎018・889・2647

産学イブニング・サロンあきた (SESSA)

産(企業)、学(大学)、官(行政)らが集い、切磋(SESSA)琢磨する交流の場、大学の研究を説明する対話の場とすることを目的に開催。自由に語らいながら秋田の未来につながるヒントを探します。

- 【第11回】
- 3月1日(金)18:00～20:00
- 【第12回】
- 3月28日(木)18:00～20:00
- 秋田大学手形キャンパス 大会館
- 会費1,000円
- ☎018・889・2712

秋田大学国際資源学教育研究センター 第7回国際シンポジウム 秋田大学リーディング大学院プログラム 「日本を支える資源学の 最新の取組み -2013-」

- 【東京会場】
- 3月13日(水)10:00～17:00
- 国際協力機構市ヶ谷ビル 国際会議場(東京都新宿区市谷本村町10-5)
- 【秋田会場】
- 3月15日(金)9:00～12:40
- 秋田大学60周年記念ホール
- 両会場ともに参加無料、東京会場については要申込
- ☎018・889・2810

平成24年度 秋田大学卒業式

- 3月22日(金)10:30～
- 秋田県民会館 ☎018・889・2207

平成25年度 秋田大学入学式

- 4月5日(金)10:30～
- 秋田県民会館 ☎018・889・2207

市民のための夜間天体観望会

- 毎月第1土曜日
- 教育文化学部天文台(手形キャンパス)
- ☎018・889・2655

〈その他〉……………

平成25年度 サイエンスボランティア募集

鉱業博物館の様々な仕事をサポートして下さるサイエンスボランティアを募集します。

- 活動内容／見学者への案内と説明、鉱業博物館内の環境整備等のサポートなど
- 活動期間／平成25年4月1日～平成26年3月31日
- 募集対象／高校生以上
- 募集期間／1月25日(金)～3月29日(金)
- 申込先／秋田大学大学院工学資源学研究科附属鉱業博物館事務室(平日9:00～16:00)
- ☎018・889・2461
- w3admin@mus.akita-u.ac.jp

秋田大学学生への「教育研究支援基金」のご協力をお願い申し上げます。

秋田大学では、教育研究等の充実・発展のため「秋田大学教育研究支援基金」を創設しております。この基金の趣旨をご理解いただき、皆様のあたたかいご支援、ご協力をお願い申し上げます。なお、寄付は学内からも随時受け付けております。詳しくは秋田大学ホームページをご覧ください。

●http://www.akita-u.ac.jp/honbu/ed_fund/index.html

この基金の趣旨にご賛同、ご協力いただきました皆様へ、心より感謝申し上げます。寄附金については秋田大学の教育研究、社会貢献・国際交流活動、学生支援等の充実のため有効に活用させていただく所存でございます。今後とも秋田大学の教育研究活動等に対し、格段のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

【ご協力いただいた皆様】(平成24年10月～12月末)

- 秋田大学生活協同組合 様
- 秋田大学学長特別顧問 吉岡 尚文 様

【お問い合わせ先】秋田大学 教育研究支援基金事務局

〒010-8502 秋田市手形学園町1番1号
TEL:018-889-2264(担当 学生支援課)

平成25年度 秋田大学入学者選抜日程

- 一般入試(前期日程)
- 試験実施日／平成25年2月25日(月)26日(火)
- 合格者発表／平成25年3月6日(水)

- 一般入試(後期日程)
- 試験実施日／平成25年3月12日(火)
- 合格者発表／平成25年3月21日(木)

※募集人員、選抜方法等については、一般入試学生募集要項を必ずご確認ください。

しゅうとくんの図書館あるある



ボクは秋田大学附属図書館マスコットの秋田犬、しゅうと。図書館に棲んでいるボクが、図書館にまつわる“あるあるネタ”を教えるね。

「ラーニング・コモンズ」って知ってる？

今回は本館1階にあるコーナーのお話。ここは、「ラーニング・コモンズ」という新世代の図書館の空間になっているんだ。異なるタイプのグループ学習室と学習個室、自由に組み合わせることのできるイス、ホワイトボード、調査用の資料やパソコン、無線LAN環境が整っていて、意見交換しながら学習できる。普段会話ができない図書館の中でも、ここだけは勉強に関する会話や議論が

OKなんだ(でも2階は勉強に集中したい人のためにおしゃべり厳禁だよ)。コモンズの学習サポートデスクには大学院生中心の学習サポーターの人たちもいるよ。勉強のやり方やレポートの書き方が不安な人に、親切に教えてくれる頼もしい先輩たちだ。今後、医学部分館にも「ラーニング・コモンズ」ができる予定。楽しみにしててね！



編集後記

私たちは、生まれたときから亡くなるまで、お互いに支え合いながらでなければ、生きていくことはできません。そしておそらく「育児」も「介護」もその最たるもの。

男女共同参画、ワーク・ライフ・バランスなどは馴染みのある言葉となり、秋田大学でも着実に制度が整えられてきています。しかし、いざ自分のこととなると経験して初めてその意義を考える方が多いのではないのでしょうか。

そのためにも、学内外の方々にぜひ秋田大学の取り組みを知っていただきたいの思いから、今回の特集では男女共同参画推進室の取り組みを紹介しました。特に、男性の育児・介護経験者のインタビューは今回初めてのこと。実際に家族との大切な時間を過ごした、また、今現在も過ごしている方々の経験に基づく言葉に勝るものはありません。是非ご一読ください。

さて、今回の表紙モデルは工学資源学部3年の若松さんです。秋田大学工学資源学部の前身である秋田鉱山専門学校本館の面影を再現した「百周年記念館」での撮影となりました。野次馬が多く、緊張する中でもすてきな笑顔を見せてくれた若松さん。本当にありがとうございます。(寛)

●アプリールの由来

「アプリール」とは、イタリア語で「開く、開ける」という意味です。「積極的に秋田大学の窓を開放すること」を意識して名付けられました。